

## 第28回


**キョウワベトナム**

## ●業務内容

機械装置製造、熱間鍛造、委託生産

## ●ベトナム事務所

30 Song Thao, Ward 2, Tan Binh District, HCMC  
Tel: (08) 3547 2316 Fax: (08) 3848 5073  
http://www.kk-kyouwa.co.jp

## ●ベトナム工場

Lot B2-1b Long Hau IP, Can Giuoc District, Long An

## ●日本本社

〒501-3205 岐阜県関市志津野2935  
Tel: 0575 - 29 - 0221 Fax: 0575 - 29 - 0558

株式会社キョウワは岐阜県関市に本社を置く、機械装置製造及び熱間鍛造を行っている企業です。2011年3月にホーチミン市に駐在事務所を設立し、ベトナム企業への外注調査業務などを進め、2012年2月にはロンアン省のロンハウ工業団地に現地工場としてキョウワベトナムを設立しました。今回はこのキョウワベトナムのベトナム進出から現在までを中心となって進められてきた白田憲二所長にお話を伺いました。

### ーベトナム進出の経緯を教えてくださいませんか？

弊社の本社は株式会社キョウワといいまして岐阜に本社を置く企業でして、主な事業内容には産業機械の製造、熱間鍛造、海外事業の3つがあります。

産業機械製造部門では、食品梱包機械、液晶パネル洗浄・乾燥機、自動倉庫用搬送装置などの設備の設計から製造、組立までを行っております。熱間鍛造部門では熱間鍛造ボルトメーカーとして40年以上に渡り製造を行っており、世界で始めてマグネシウム合金の熱間鍛造に成功したのが弊社になります。海外事業部門ではベトナムと中国の委託加工を行っております。

弊社のベトナム駐在事務所は2011年3月設立なのですが、ベトナムとの関わりはもう少し古く、2006年ごろになります。

弊社では、それまで中国人の研修生を受け入れていたのですが、研修生はようやく技術を覚えても3年間で帰国してしまう為、それがネックになっていました。

そんな時、知人から技術者としてベトナム人を受け容れれば3年以上の雇用も可能ということを知り、ベトナム人をエンジニアとして雇用したのがベトナムと関わりだすきっかけになりました。その後、日本の経済状

況が不透明になり、弊社のお客様でも海外へ進出される企業様が目立つようになりまして、弊社も2008年ごろから将来の海外展開を視野に入れた活動を行うようになりました。

当初は、ベトナム、韓国、台湾、タイ、中国などの国の進出可能性を調査しましたが、製造業を行える環境、今後の経済成長見込み、自社の規模に適しているなどの点を考慮し、更に本社で受入れていたベトナム人エンジニアとの関係もあり、ベトナムが最有力の進出候補先になりました。弊社のベトナム進出の目的は、ベトナムで産業機械設備、自動化設備の設計、製造、販売、メンテナンスを一貫して行うことなのですが、機械設備の製造には様々な部品の調達が必要です。

必要な部品の全てを自社で製造するとなると巨額の設備投資が必要となりますので、現地の製造業を活用して部品を現地で調達できるようにすることは、ベトナムに進出する上で重要なポイントになると考えました。

そこで、弊社ではベトナムへの進出を本格的に検討し始めた段階で、現地のローカル企業のレベルを知るために試験的に部品の製造を依頼しました。その時はベトナム企業4社に依頼したのですが、結果は図面と違う製品が送られてきたり、製品そのものが送られてこなかったりと散々なものでした。

この試験的な部品製造のやり取りを経験する中で、やはり現地に拠点を構えなければ、難しいと感じるようになり、2011年にベトナムに駐在事務所を設立するにいたりしました。

### ー事業内容を教えてくださいませんか？

ベトナムに拠点を確立してまず最初に取り組んだのが、現地企業の調査になります。技術力、品質管理、工程管理、納期管理がどの程度できるかを企業を直接訪問し調査し、その中で見込みがある企業には本社から部品の加工を依頼し、製品が合格ラインに達した会社に対しては、日本人技術者を企業の製造現場へ送り込んで、技術力、工程管理方法、不具合の対策、対応などを徹底的に指導しました。

私がこちらに赴任してから200社以上のローカル企業を調査しましたが、最終的に弊社の日本人スタッフを送り込んで現在までパートナーとして協力いただけるレベルに成長した企業はメッキ、機械加工、板金などそれぞれの業種で6社だけでした。この6社につきましては、現在では弊社スタッフが常駐しなくても充分対応できるレベルにまで成長しています。弊社のベトナム進出の当初の目的は先ほども申し上げましたように自社で機械設備を製造することでして、その為に現地で部品調達を行えるようにするためにベトナム企業の調

査、選定、教育を行ってきたのですが、実は最近日本でも海外での委託加工を考える企業が増えておりまして、弊社で指導を行いレベルアップした現地企業を活用すれば、日本企業の委託加工の需要に対応できるのではないかと考え、委託加工事業部を立ち上げました。弊社の委託加工事業部では、単に工場を紹介するだけではなく、日本人エンジニアが現場に入り一緒になって工程管理、品質管理を行いますので、お客様が現地の工場を管理する必要が無くメリットを感じていただくと考えています。

ものづくりに対し、今まで当社が、ベトナムで事業を始めるために、多くの時間と、経費を費やしました。その経験を生かして、日本の中小企業様のために、現地での情報収集、製作先企業の検索、紹介、現地での技術スタッフによる商談サポート等のモノづくりに対する、サポート事業を開始しました。それは我々が苦勞をした部分に対して、サポートする事により、中小企業様の現地での物づくり、進出を容易にする事を目的としています。現在サポート事業に対する、日本のお客さまからの相談も増えています。

また、2012年3月にはロンアン省のロンハウ工業団地で製造業の法人ライセンスを取得しました。この工場の主な事業内容は、当初からの産業装置の製造は勿論ですが、精度の高い溶接事業も行う予定にしております。といいますのも、実は、弊社が委託加工先の現地企業の技術力を調査する中で、ベトナムでは精度の高い溶接が弱いと感じることが多くありました。ベトナムでもプラントや造船関連の溶接であれば充分対応できるのですが、機械のフレームといった高い精度が求められる溶接は対応できる企業が殆どありませんでした。そこで弊社の日本人溶接技術者を招聘し、ベトナムで高い精度が要求される溶接事業を行えば、需要があるのではないかと考えた次第です。

この溶接事業は2012年8月からのスタート

を予定しておりまして、現在、設備、人員の準備をしております。

### ーベトナムで活動されるに当ってご苦勞された点はありますか？

一つはやはり現地のパートナーとなる企業の調査、選定ですね。ホーチミン近郊で出来る限り多くの企業を回りお話を伺ってきましたが、中々思うような企業さんにはめぐり合いませんでした。また、ホーチミン近郊の企業は、良くも悪くも外資系企業に慣れている面があります。外資系企業との取引経験があるがゆえに、自社の技術力を過信していたり、外資系向けにだけ高い見積りを提出したりといった面も目に付きました。また、我々が改善の提案をしても中々素直に受け止めていただけないという問題もありました。

そこで、最近ではあえてホーチミン近郊ではなく、ホーチミン市内より遠方で企業の調査を行っています。ホーチミン市内より遠方ですとまだまだ外資系との取引経験も少なく、我々からの提案も素直に受け止めてくれますので、大変有難いです。先日もホーチミン市内より遠方へ出張に出かけまして、60社近くの企業を回りまして、ようやく1社有望な企業を見つけることが出来ました。

もう一つの問題は、委託加工の依頼方法です。実は弊社でも当初ベトナム企業に部品の製造をお願いした際に図面とは違うものが送られてくるのがよくありました。そこでその原因を考えてみると、実は依頼方法に問題があったことに気がつきました。

実は日本の図面というのは、日系企業同士であれば当たり前とされるような内容は省かれて書かれていることが結構多いのです。これは日本国内では問題なく通用するのですが、ベトナムのような国で業務を委託する場合はその常識が通用しないのです。

そこで、弊社ではベトナム企業に対して標準書という形で、日本の常識とされている内容を文書化し、更に図面にも成るべく細かく情報を書き込むようにしました。ベトナム企業は

元々ポテンシャルは高いので、そういった細かい部分まできっちり説明すれば、こちらの要求した製品を製造してもらえるようになります。

また、弊社では委託加工をお考えの企業様に対してベトナム仕様の製品のご提案もしています。

ベトナム仕様と言いますのは、先ほどの図面の問題もそうなのですが、ベトナムでの委託加工に向かない製品をベトナムでの委託加工向けに調整するという事なのですが、ベトナムは確かに人件費は安いのですが、原材料費などは決して安くありません。その為、大型の設備を使って、日本での規格を満たした材料を使用した製品を製造する場合、ベトナムでの製造メリットが殆どありません。そこで、弊社では、お客様と相談しながら、要求される強度などを満たした上で、現地で調達できる材料で代替の効くものを探るようにしています。

### ー今後の展望を教えてくださいませんか？

現在の委託加工事業部はこのまま継続していきます。また、8月からは溶接事業も始めます。また、将来的には現地で必要とされる機械設備を設計から製造まで手がけ、弊社の自社ブランド機械をベトナム国内、アジア全域で販売できるようになりたいと考えています。

弊社は委託加工で言いますとローカル企業の価格帯で日本の品質での部品のご提供が出来ますし、8月からはベトナムではまだ余り無い精度の高い溶接を自社の工場で行います。また、近い将来には現地での産業機械を現地で製造し、お客様にご提供できるようになる予定です。もし、機械部品の製造、溶接、産業機械、自動化設備などでお困りのことがございましたら何なりと弊社までご相談いただければ幸いです。

ーありがとうございました。



機械加工部品(搬送装置機械)  
※表面処理三価クロメート処理



溶接製缶部品(工作機械)



溶接機械加工部品  
(工作機械・その他専用機)



搬送装置  
(制御付き・チェーンコンベアタイプ)